

日本応用地質学会東北支部第8回研究発表会報告

日本工営㈱ 中曾根 茂 樹

平成11年度の研究発表会が下記の内容で開催されました。

日 時 平成12年1月28日(金)

10:00~17:00

場 所 仙台サンプラザ

パールの間

プログラム構成

研究発表件数 11件

台湾大地震報告関連 2件

特別講演 東京大学 登坂博行

「地質・水文情報の総合化による広域
水環境シュミレーション」

当日参加 77名

年度末の忙しい時期であったが、例年にもまして参加者が多く、活発な質疑応答もあり盛況であった。研究発表は別途目次に示すように、原発予定地点の地質弱層の評価、貯水池袖部の浸透流解析とその評価、土砂災害の統計解析、岩盤モニタリングと現地対応、GISの活用法など多彩であった。

今回は官庁関係の発表者、参加者も多く、積極的に議論に加わってもらえた。高度情報化社会に向けた河川GISの整備状況や道路の岩盤モニタリングの実例に関して、発表ツールを持ち込み講演していただいた。プレゼンテーションもすばらしく、これからの新しい業種分野の方向性も十分感じ取れるものであった。また、台湾地震報告も内容が豊富であり、短時間ではあるが緻密な調査に基づいた成果をみることができた。東北支部の会員が実質的な海外調査に加わる機会があることを実感させた。

講演集もA4版になって充実してきており、貴重なデータや図面とともに実務の参考資料として

十分役立つと自負できるものである。過去7回の研究発表会の講演集とともに事務局に在庫がありますので必要な方は申し込んで下さい。

登坂先生の講演は、応用地質分野の仕事とは「地質屋」・「計測屋」の連携プレーに象徴されるということから始まり、このくせのある三者がそれなりにイメージするところが異なる自然現象を、お互い納得させるように組み立てて行くというところにシミュレーションの醍醐味があるというお話であった。三者の定義もびったりあたっており、落としどころが明確でわかりやすいものであった。講演中は、笑いが連発するような雰囲気につつまれた。豊富な経験に裏打ちされた貴重な資料を使っただけの1時間半の講演は、内容にも充実し、思わず参加者を引きずり込んでしまいような時間体もあり、大変満足するものであった。講演に対する質問は懇親会の席までもちこまれることとなった。

座長さんをはじめ裏方さんのご尽力により、「研究発表会会場は落ち着いた雰囲気」、「懇親会会場は華やかな雰囲気」という演出がうまくできたように思われる。支部長からは、2001年実施の「東北支部10周年記念行事」に関する決意表明もなされ、いよいよ盛り上がり、また楽しいお酒と肴をいただくことができた。主催者としては、大変有意義な研究発表会であった。

日本応用地質学会東北支部第8回研究発表会講演
題目

① 火山砕屑岩の岩盤分類

東北電力㈱ ○三和 公

西橋 修一

西館 昌行

- ② 火山砕屑岩中に分布する薄層（変質鉱物脈）の物
性評価方 東北電力(株) ○西館 昌行
三和 公
大宮 宏之
- ③ 第四紀火山砕屑岩地域のダム貯水池の浸透流解析
日本工営(株) 林 篤
- ④ 節理異方性岩盤の変形特性
中央開発(株) 市川 健
- ⑤ 1998年福島県南部8.27豪雨による斜面崩壊地の
地質と形態 新協地水(株) ○石井 六夢
五月女 寛
8.27豪雨による地盤災害調査団
- ⑥ 石灰安定処理された軟弱ロームの改良効果特性に
関する考察と検証 国際航業(株) 江成 徹也
- ⑦ チューブ式接点センサーを用いた落石検知システ
ムについて
(株)復建技術コンサルタント 村田 暁永
- ⑧ 岩盤崩落の監視及び予測システムの構築について
東北地方建設局 水上 忠夫
小松 直文
○横山 真幸

- ⑨ 光波測距儀による岩盤モニタリングの検討
日本大学工学部 田野 久貴
(学生) ○染谷 公生
渡辺 英彦
- ⑩ 1周波型GPS計測センサーによる地すべり連続
観測の試み 東北農政局 ○椎名 義徳
備前 信之
白旗 克志
国際航業(株) 及川 典生
河合 剛匡
- ⑪ 高度情報化社会に向けた河川GIS整備について
東北地方建設局 山内 芳朗
○栗田 信博
木村 晃
- [報 告] 「台湾921集集地震調査報告ー地表
地震断層についてー」
(株)ダイヤコンサルタント ○大友 淳一
東北電力(株) ○橋本 修一
- [特別講演] 「地質・水文情報の総合化による広域
水環境シミュレーションー計算機上で
自然の場と現象を如何に模倣するかー」
東京大学 大学院工学系研究科教授 登坂 博行



発展ツールを持ち込んでの横山さんの講演



東北地建 栗田さんの画面に参加者の視線がそそがれる



登坂先生の講演 ときどきどっとわくシーンもあった



おもわず支部長の質問に熱がこもる